（様式⑦-1　小学校・中学校）

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ　学校力向上プラン【学校評価計画書】

中学校区におけるめざす子ども像

生きる力をはぐくみ，はばたく子　～　学びの集団づくり　～

堺市立　中百舌鳥小学校
校長　　古川　結美子

令和7年度　重点目標

＜3校共通重点目標（確かな学び）＞

〇予測困難な社会において，自ら課題を見つけ，自ら学び，自ら考え判断して行動し，他者と協同しながら確かな学びに向けて努力する。
〇多様な他者の考えや立場を理解し，相手の意見を聴いて根拠を持って自分の考えを相手にわかるように正確に伝えることができる表現力を身につける。

＜本校の重点目標＞

重点1：「居場所と出番」がある集団づくりと「心の教育」の推進
重点2：「勉強がわかる」と感じる授業づくりと「総合的な学力の育成」
重点3：「気持ちの良い環境」「安心できる環境」の構築
重点4：成長を感じる「学校力」の向上

確かな学びの現状
〇基本的な知識や計算力などは全体的には定着しており，教科学力や学びの基礎力について，力をつけてきている児童が多い。しかし，問題解決力や社会参画力などの社会的実践力については，課題が見られることから，教科や総合的な学習で問題解決的な学習や探究活動に積極的に取り組み，問題解決力や社会的実践力を高めるようにする。
〇基礎基本となる「A問題」に加え，「B問題」に対応できる力（獲得した知識の活用能力）については，二極化が見られることから，「考える力」を身につけさせるための授業改善を引き続きめざす必要がある。

豊かな心・健やかな体の現状
〇いつでもどこでもだれとでも気持ちのよいあいさつができる子が増えてきている。。すすんで，多くの子どもたちが自分からあいさつをするようになってきている。
〇子どもたちが安心して、毎日笑顔で楽しく登校できるよう「居場所と出番」がある集団づくりと「自分がされて嫌なことは人に言わない。しない。「ありがとう」「ごめんなさい」は魔法の言葉，この言葉を合言葉に「心の教育」に取り組んでいる。さまざまなことに前向きに取り組めるように子ども主体で学校生活を進めていく。多くの児童が多様な他者の考えや立場を理解しようとしている。
〇新体力テストでは，全国平均を下回る種目が多くあり，敏捷性や持久力に課題が見られる。特にシャトルランでは気持ちの面で「あきらめる」ことが結果となっていることもあり目標を掲げ，体育の はじめの時間を使って5分間走を行い体力向上を図るとともに，かけあしチャレンジなどの体育的行事をはじめ，なわとびカードでの体力づくりなどに取り組んでいる。体力向上につながる遊びを取り入れる必要があると考えている。
〇将来にわたって健康について考えられる子をめざし，「運動を好きになる」「運動を自ら進んでやる」ための取組を充実させる必要がある。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 （●重点とする取組　★中学校区での取組）	判断基準 （評価のものさし）	評価方法	評価時期	進捗確認 （～12月）		達成状況(年度末) 自己評価		学校関係者評価	
確かな学び	基礎学力の定着	読む・書く・計算する力などの基礎的な学力を継続的に育成する	●ノート指導と家庭学習の充実（自主学習の推進）により，学びの基礎力及び基礎的・基本的な学力の定着を図る。	「授業の内容がよく分かる」で肯定的評価をそれぞれ92%以上にする。 「毎日宿題をする」で肯定的評価を90%以上にする。	全国学テ すくすくウォッチ アンケート	2・3学期	◎	「授業の内容がよく分かる」については，児童が94%，保護者が93%である。教職員全員が行っている公開授業や，各学年で行っている研究授業を通して，互いにわかる授業を目標に取り組んでいる表れだと考える。 「毎日宿題をする」については，児童が95%，保護者が93%である。教職員の児童に対する書段の声かけや家庭学習の充実のため，すばらしい家庭学習の取り組みに関しては，職員室前に掲示するなどの取り組みにより，宿題をする習慣が身についたと考えられる。	◎	学びの基礎力及び基礎基本の学力の定着を図るため，毎週木曜日にぐんぐんタイムを設定し，各教職員が分かりやすい授業にも努めたため，「授業の内容がよく分かる」で高い肯定的評価を得られた。宿題についても，普段の宿題チェックやご家庭の協力もあり，「毎日宿題をする」において高い肯定的評価を得られた。	◎	学校での基礎基本の定着の取り組みに関しては，教職員の授業の工夫やぐんぐんタイムをはじめいろいろな取り組みを通じて，一定成果を得ることができている。 今後も更に，学校で，基礎基本の定着とわかりやすい授業を行えるように教材研究にも取り組んでほしい。
	総合的な学力の向上	児童が自分の考えを持ち，伝える力を育成する	●★ノート指導（めあて，ふりかえり）やペア，グループでの話し合いを通して，自分の考えを伝えることができるようにする。	自力解決・話し合う・振り返る場面を授業に位置付け，1時間に1回はペア，グループでの話し合いを行う。	実施状況 アンケート	2・3学期	◎	「話し合い名人（7つの約束）」を意識できているかのアンケートについての7つの項目の平均は，86%である。発表するとき，「はい」と返事をすることができたや話を最後まで聞くことができたなどの4つの項目については，90%以上を示している。 この成果は，話し合い名人やペア，グループ話し合いカードに取り組む意図を児童に伝え，学級での掲示，児童への声かけも行うことにより，児童の話し合い名人への意識が高まったことが考えられる。 一方，口を大きく開けてはきはきと発表することや頷きながら聞くことの定着において課題がみられる。	◎	話し合い名人においては，全教職員が話し合い名人の指導を徹底し，毎年の研修の積み上げもあるため，児童の力もある程度ついてきたと考えられる。 しかし，「うなずきながら聞く」という項目については，71%という結果なので，人の話を主体的に，また理解しながら聞き，その発言につなげて発表したり，説明したりすることに課題が見られる。 今後の取り組みとしては，教職員が発表したくなるような教材を提示することはもちろん，児童に友だちの考えに対してどう思うかを瞬時に考えて説明することや自分の考えをわかりやすく説明する力をつけていく必要がある。	◎	話し合い名人に関しては，年間を通して意識づけもでき，成果を得られたように思える。話し合いの中で，相手の話をよく理解し，そのことを踏まえて説明したりすることなど，より深まる話し合いができるように手立てを考えていただきたい。
			●話し合い名人（7つの約束）を学校全体で共有し，徹底していくことで，自分の意見を堂々と言えるクラス，学校づくりを進める。	「話し合い名人（7つの約束）」を意識できているかのアンケートを取り，肯定的評価をそれぞれ90%以上にする。	実施状況 アンケート	2・3学期	○		○		◎	今後の取り組みとしては，教職員として，話し合いを円滑にできる教材の提示の工夫や相手の考えを要約して理解し，自分の考えをわかりやすく説明する力を児童が身につけられるように指導に努めてほしい。
豊かな心・健やかな体	豊かな心	人権を尊重する心と態度を育てるとともに，望ましい人間関係を築く	●★たてわり活動で異学年交流を増やし、相手の気持ちを考えた言動がとれる子に育てる。	「たてわり活動は楽しく参加できましたか」で肯定的評価を80%以上にする。	アンケート	2・3学期	◎	「たてわり活動は楽しく参加できましたか」については，児童が92%，保護者が91%である。異年齢集団による交流を通じて、他学年のことを考えた活動で思いやりの心を育むことをねらいに，子どもたちの創意工夫が生かせた成果だと考えられる。 また，生徒指導面においても今後も，子どもに真摯に向き合い，子どもに寄り添う生徒指導に努めていく。	◎	今年度はたてわりでの行事内容を変更したため，昨年度以上に，高学年が低学年を助けたり，同学年同士助け合ったりする姿がよく見られた。 また，生徒指導においても，不安な気持ちや課題をもつ児童がいる場合，学年や学校全体で共有し，役割を決め，対応方法を話し合うなど学校組織として対応できた。	◎	たてわり活動を通じて，高学年児童が，低学年や中学年児童の良い手本になっていた。アンケートの成果だけでなく，実際にたてわり活動を見学した際にも，優しい声かけができていた。
			いじめ等問題行動については，子ども支援委員会を中心に，予防的取組と早期発見・早期解決に努める。	子どもに真摯に向き合い，教育相談やともだちアンケート（「いやなことをいわれたことがある」などの質問）を通して，常に時・場・目的に応じた支援をする。	実施状況	2・3学期	◎		◎		◎	また，生徒指導においても，学年や学校全体で現状を共有し，役割を決め，対応方法を話し合い学校組織で取り組めていることは，良いと思う。
	生活習慣	基本的な生活習慣（生活・学習のリズム）を身に付けさせる	●「挨拶・返事・丁寧な言葉遣い」のできる子を育てる。	「挨拶をしている」で肯定的評価を98%以上にする。	全国学テ すくすくウォッチ アンケート	2・3学期	○	「挨拶をしている」児童が93%，保護者88% 「学校の決まりを守っている」 児童92%，保護者が94% 「学校に通うのが楽しい」 児童90%，保護者が87% 「健康で元気に育っている」保護者91% 挨拶は，コミュニケーションをとる上で，児童が成長しても大切な力の一つになるものでもあるため，今後も挨拶の大切さを推進していきたい。「学校の決まりを守っている」「学校に通うのが楽しい」「健康で元気に育っている」に関しても，児童が心身ともにたくましく成長できるように，学習規律の定着・基本的な生活習慣の大切さ・つながりを意識した教育環境に努めていきたい。	○	朝や帰りの挨拶を元気よく行っている児童の様子が見受けられた。挨拶をすることは，規律や協調性にもつながることであり，今後も継続して挨拶ができるように促していきたい。また，児童一人ひとりが安心して過ごせる学習環境につとめ，学校を楽しく思えるように努めていきたい。 就寝時間が学年が上がるにつれ遅くなっている状況があったため，なかもずっ子健康カードを使った生活習慣の振り返りを行い，基本的生活習慣の定着を促した。	○	例年よりも挨拶を元気よく行っている児童の様子が見られた。学校のきまりを守れていることがクラスや学年の規律や協調性にもつながっていると思える。
		学習規律の確立と安心できる環境づくりに努める。シャトルランの校内平均が堺市平均を上回れるよう，体育の授業では全学年必ず「5分間走」を実施し，心身ともに健やかな体の育成に努める。	「学校の決まりを守っている」「学校に通うのが楽しい」「健康で元気に育っている」で肯定的評価をそれぞれ95%以上にする。	全国学テ すくすくウォッチ アンケート	2・3学期	○		○		○	今後も安心して過ごせる学習環境につとめていただきたい。 基本的生活習慣の定着はあるものの，今後も継続的に促してほしい。 今年度はインフルエンザの児童も多くみられたこともあり，環境面においても教室の風通しなども気をつけてもらいたい。
（協働・共育）	情報発信	「教育は共育＝今日行く」学校・家庭・地域・関係機関との協働体制の充実を図る	学校だより・学年だより・学校HP等で学校の様子を伝える。	「学校だよりやHPなどで適切に伝えている」で肯定的評価を90%以上にする。	アンケート	2・3学期	◎	「学校だよりやHPなどで適切に伝えている」については，保護者が95%である。 ホームページ視聴者数も200～300近くのアクセス数があり，適切に伝えるという面において，一定成果を挙げている。 また，今学期行った学校教育アンケートの結果を教職員で振り返り，今後の学校運営にいかしていきたい。	◎	学校だよりやホームページを通じて，児童の学習活動の状況を発信してきた。アクセス数からも多くの方に発信することができたと考えられる。また，学校教育アンケートの結果だけでなく，日ごろからも保護者や地域の方々からの貴重なご意見やご感想においても，教職員全体で共通理解し，より良い学校づくりに向けて取り組んできた。	◎	学校だよりやホームページなどで，児童の学習活動は，良く発信できている。教職員においても夏祭りや冬まつりなどの地域の行事に参加して，児童のために地域協働も行うことができている。より良い学校づくりに今後もつとめていただきたい。
			学校協議員会や学級懇談会，学校教育アンケート等で出てきた意見を学校改善に反映させる。	学校協議会での意見や，学校教育アンケート結果等の情報を教職員全体で共有し，改善を図る。	アンケート 実施状況等	各学期	◎		◎		◎	

校長より(年度末)
確かな学びについては，ぐんぐんタイムの設定や家庭と連携した宿題への取り組みなどにより基礎学力の定着が図られた。
「話し合い名人」の指導の徹底により考えを伝え合う力も育ってきている。今後さらに瞬時の説明力や聞く力を育て，互いの考えを深め合えるようにしていきたい。
豊かな心，健やかな体に関しては，各学級・学年や朝会時の指導などにより基本的生活習慣や挨拶の定着が図られた。また，たてわり活動の行事内容を見直したことにより，これまで以上に児童が助け合い思いやる姿が見られた。
協働・共育については，HPなど学校からの積極的な情報発信に対して多くのアクセスがあり，地域や学校の行事において学校・家庭・地域の連携の強化や双方向の交流が図られた。

学校関係者評価者から(年度末)

基礎基本の定着に取り組みながら，分かりやすい授業づくりに今後もつとめていただきたい。
また，たてわり活動を中心に児童の思いやりの気持ちも育っている。今後も，一人ひとりの豊かな人間性や健やかな心の育成のためにも，学校・家庭・地域が一体となって児童を育てていきたい。